

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポート教室 プリズム			
○保護者評価実施期間	2025年7月8日 ~ 2025年7月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年12月15日 ~ 2025年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日				

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しみながら活動に参加、通所出来る。 それぞれの児童に対して必要な支援を行い成長を促す。	作業療法をはじめSST、子どもたちが療育を楽しめる工夫をしながら支援を行う事で、自発的な成長や事業所への来所に繋げ る事が出来ている。	それそれが児童への理解を深め、個々のスキルアップを図 る。
2	保護者と連携を取りながら、一緒に支援できる環境や子どもを理解する事が出来る。 保護者自身が家庭での関わり方について理解を深める事が出来 る。結果子どもとの時間が楽しく楽になること。	保護者に対し、事業所での支援内容の共有、根拠に基づいた支 援の内容や日ごろからの情報共有。相談援助において家庭での 困り感から、特性がどのように影響しているのか、どのような 取組が有効か等を共通認識をもって取り組んでいる。また、必 要に応じて社会資源や制度関係や検査内容について説明や理解 がしやすいように支援を行っている。	ペアレントトレーニングや交流イベントなど、保護者参加型 の研修や交流の場の提供
3	1. 2の環境を提供する為の職員の質や知識	1番に子どもの利益や将来像をイメージしながら関わる事が出 来る。専門的な知識や経験を生かしながら今向き合っている子 ども達に対し出来る限り効果や質の高い支援、援助を行おうと する姿勢や体制。達成する為にディスカッションやケース検討 を行っている。	研修やディスカッションを行う事での知識の向上や自分の専 門分野の波及。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他の児童グループとの活動。	地域の児童との関わりの機会が弱いと感じる。 色々な子ども（普段から関わらない様な）との関わる機会がす くない。時間的な制約もあるが機会提供を行って行きたい。	他の事業所と連携をしながら、普段関わらない児童や人との 関わる機会を提供していく予定。
2	自立支援協議会などへの参加	多職種や地域での課題などについて知る機会や社会資源を知る 機会などが少ない。	時間を確保しながら、参加できる体制づくりを行っていきた い。
3	ペアレントトレーニングや保護者の交流の場の提供	保護者向けの勉強会や研修の提供することやビアサポート、親 子のイベント等が出来ていない。保護者がより具体的な子ども との関わり方や家庭以外の様子や成長を感じる場を提供してい きたい。	季節のイベントや計画を行い、どのように実現していくかを 職員と協議しながら実現していきたい。